

島本町立第三小学校
学校だより 平成30年11月臨時号

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井二丁目 25-1
TEL 075-962-2521 FAX 075-962-2522 URL <http://www.shimamoto-ele03.ed.jp>

読書の秋そして……創作の秋
～楽しく書く経験を「作家になろう!」～



みなさん、本を読むだけではなく、自分で書いてみませんか？
図書室には、今、本のかたちに折った紙を置いています。

「本を書いてみようかな」と思う人は、その紙をつかって書いてみましょう。

書くことは、ものがたり、絵本、ずかん、お菓子の作りかた、スポーツについて、
漫画……。なんでもいいですよ！

紙が足りなくなったら、図書室に取りに来て、つけたしてくださいね。

上記は、学校図書館(図書室)からのお便りの一部を抜粋したものです。
この呼びかけに多数の作品が集まりました。物語、折り紙の折り方、昆虫についての説明、ワールドカップ、料理のレシピ本 etc.内容は実に多岐に渡ります。子どもたちは、とても楽しんで書いたようです。



このように、時には「何を書いてもいい」「どのように書いてもいい」という自由の中で文章を書くこと、「楽しく書く」経験を持つことも、言葉で表現しようとする意欲と習慣の土台となると思います。常識的なもの、日常的なもの外に生きる楽しさは、遊びに夢中になる楽しさにも通じるようです。



さて、「読書の秋」ということで、ご家庭でも「読み聞かせ」をされる機会があると思います。様々なお話の読み聞かせでは、あたたかい語りとともに、心地よい非日常の時間がゆったりと流れていることでしょう。「読み聞かせ」は人と人とのコミュニケーションの場でもあります。語り手は、声、表情、身ぶり等、時に身体全部を使ってお話の世界を表現します。その世界の中、他者に変身する楽しみや遠いところへ旅する喜びを通して、子どもたちの心は豊かで広やかになっていくのでしょう。

授業風景 ～episode 6～

「お手紙～読書指導と関連させて～」(2年 国語科)



40年来、教科書に掲載され広く知られている「お手紙」。

今まで一度もお手紙をもらったことがない、と悲しそうながまくんに、お手紙を書いてあげたかえるくん。でも、配達をかたつむりくんに頼んだものだから、なかなか届きません。待ちきれずに中味を話してしまうかえるくん。2人は幸せな気持ちでずっとかたつむりくンを待ちました。

「がまくんとかえるくん」で知られるこの物語は『ふたりはともだち』『ふたりはいつしよ』『ふたりはいつも』『ふたりはきょうも』のシリーズ4巻に収録されているお話の一つです。いずれも1巻ごとに5話収録の短編集です。『ふたりはともだち』だけでも106万部、シリーズ累計221万部のロングセラーです。



担任以外の教職員も関わりながら読み聞かせを行ったり、ちょっとあいた時間に子どもたちが手にとりやすいように班に1セット用意したり、と教科書掲載の「お手紙」以外の作品とも出会えるように計画しました。お話はどれも日常のささいなできごと、子ども同士のやりとりで、友だちの疑問等を一緒になって真剣に考えたり、悩んだり、また時にはけんかすることも。

いろんな場面の、そして表情のがまくん、かえるくんと出会うことで、登場人物の人物像が厚みをもって捉えられることでしょう。また、自分自身の友だちとの関係や、「友情」ということについても多角的に考える機会になると思います。教室では、先生や子ども同士の読みを交流し、共感や発見を通して広く深い読みが生み出されることを期待しています。



「やってみなはれ。やらなわかりまへんで。」

サントリー創業者、鳥井信治朗氏の口癖。
何かをしようとしたとき、不安要素を数え上げればきりがなし。子ども、大人を問わず「やってみなはれ」と思いつつ、今一步踏み出せない人たちの背中をそっと押してあげたいですね。

前向きな失敗は肯定的に捉える、おおらかでのびやかな気風漂う組織、学校でありたいものです。

木の上だけでなく、野原、ボートに乗って……、いろんな場所で読書を楽しむ2人です。

(校長 中村 りか)